



EDU-Portシンポジウム

EDU-Portニッポンのこれまでとこれからと
—5年間の成果と日本型教育の海外展開の未来を探る—

- 日時** 令和3年 3月9日 (火) 14:00~17:30 (会場受付 13:30~)
- 開催形態** 対面とオンライン配信のハイブリッド方式
- 会場** 全国都市会館 (全国市長会館) 2F 大ホール
東京都千代田区平河町 2-4-2
- 主催** 文部科学省
- 言語** 日本語 (対面・オンライン配信ともに英語の同時通訳有)

14:00 | EDU-Portニッポン2.0に向けて
挨拶 文部科学省 大臣官房国際課長 氷見谷 直紀

14:10 | 「日本型教育の海外展開の在り方に関する調査研究」
研究報告 EDU-Portの問題と可能性：調査研究結果から
京都大学大学院 教育学研究科教授 高山 敬太

14:30 | EDU-Portパイロット事業活動紹介① 福井大学
活動紹介 「福井型教育の日本から世界への展開」
アジア・アフリカ・中東・日本の教師教育コラボレーション事業
福井大学 連合教職開発研究科講師 高阪 将人

14:50 | EDU-Portパイロット事業活動紹介② ヤマハ株式会社
活動紹介 ベトナム・エジプト両国における初等教育への器楽教育導入促進事業について
ヤマハ株式会社 AP営業統括部 戦略推進グループ 主事 清田 章史

休憩

15:20 | EDU-Portパイロット事業活動紹介③
活動紹介 特定非営利活動法人MIYAZAKI C-DANCE CENTER
日本型ダンス教育「表現運動・創作ダンス」の海外輸出 (ラオス、他)
MIYAZAKI C-DANCE CENTER 副代表理事 豊福 彬文

15:35 | パネルディスカッション
議論 「EDU-Portニッポンのこれまでとこれからと」

東京大学教授、慶応義塾大学教授 鈴木 寛
東京大学大学院 教育学研究科准教授 北村 友人
京都大学大学院 教育学研究科教授 高山 敬太
独立行政法人国際協力機構 人間開発部長 佐久間 潤
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
株式会社公文教育研究会 取締役経営統括管掌 井上 勝之

16:30 | 閉会

16:40~
17:30 | ポスターセッション



© University of Fukui



© MIYAZAKI C-DANCE CENTER



高山 敬太

京都大学大学院教育学研究科教授、同研究科内グローバル教育展開オフィス室長

日本で学士号、カナダで修士号取得後、インドと東京で勤務。その後フルブライト奨学金で渡米。2007年に博士号取得。2008年から11年間オーストラリア・ニューサウスウェールズ州ニューイングランド大学教育学部にて勤務。2019年4月より現職。専門はカリキュラム研究、教育社会学、比較教育学。教育政策のグローバル化と教育知のグローバル化を研究。現在国際学会誌Asia Pacific Journal of Teacher EducationおよびDiscourse: Studies in Cultural Politics of Educationを共同編集。その他、Comparative Education Review, Current Issues in Comparative Education, Asia Pacific Journal of Education, International Studies in Sociology of Educationの国際理事を兼任。2010年にComparative & International Education SocietyよりGeorge Bereday Awardを受賞。3女の父。



高阪 将人

福井大学
連合教職開発研究科
講師

広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期修了。博士(教育学)。JICA青年海外協力隊理数科教師として、パプアニューギニア及びザンビアにて活動。日本学術振興会特別研究員、JICAジュニア専門員を経て2017年より現職。アフリカ教育学会理事。日本の学校文化・教師文化である「授業研究」を支える、教師の専門職学習コミュニティネットワークに着目し、アジア・アフリカ・中東・日本において活動を展開。アフリカにおける理数科教育協力や教師教育に関する実践研究に取り組んでいる。



清田 章史

ヤマハ株式会社
AP営業統括部
戦略推進グループ 主事

幼少期をギリシア・アテネで過ごす。2008年早稲田大学第一文学部総合人文学科卒業。同年ヤマハ株式会社入社。事業会社であるヤマハフラインテック株式会社にて、アジア地域における産業機器の海外営業を担当。2020年より現職。「スクールプロジェクト」業務に従事し、公教育において「器楽教育」を導入していない新興国の子どもたちに、リコーダー、ピアノ、キーボードの授業やクラブ活動を通じて楽器を演奏する喜びを届ける活動を推進している。



豊福 彬文

NPO法人MIYAZAKI
C-DANCE CENTER
副代表理事
ダンスカンパニー

「んまつーボス」 振付家・代表

逆さから物事を考えることで新たな価値を創造するダンスカンパニー「んまつーボス」は、これまでに14カ国35都市(エストニア、ルーマニア、香港、韓国等)でダンス作品を招聘・上演。国内では、金沢21世紀美術館をはじめ全国の美術館で実験的に「体育(からだを育む思想)」を展示している。2019年3月に専用劇場をオープン。んまつーボスダンスによる「誰一人取り残さない世界(SDGs)の実現を図る活動の再現性が評価され、「KIDS DESIGN AWARD」4年連続受賞。宮崎大学国際連携センター客員研究員。



鈴木 寛

東京大学公共政策大学院・
慶應義塾大学政策・メディア研究科教授

東京大学法学部卒業。通商産業省、慶應義塾大学助教授を経て参議院議員(12年間)。文部科学副大臣(二期)、文部科学大臣補佐官(四期)などを歴任。教育、医療、スポーツ、文化、科学技術イノベーションに関する政策づくりや各種プロデュースを中心に活動。現在、OECD教育スキル局教育2030プロジェクト役員、Teach for All Global board member, World Economic Forum Global Future Council member, Asia Society Global Education Center Advisor等を兼務。



北村 友人

東京大学大学院教育学研究科・准教授

カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。専門は、比較教育学、国際教育開発論。国連教育科学文化機関、名古屋大学、上智大学を経て、現職。東京都教育委員も務める。主な研究テーマは、(1)途上国における教育政策や教育実践、(2)アジアにおける高等教育の国際化と「知識外交」、(3)「持続可能な開発のための教育(ESD)」を通じた市民性の育成。近著に『SDGs時代の教育』(編著、学文社)。



佐久間 潤

国際協力機構
人間開発部部長

スタンフォード大学教育大学院修士課程修了。1989年JICA入構。主に教育及び人的資源開発分野での業務に従事。インドネシア初等中等教育アドバイザー専門家、人間開発部基礎教育第一チーム長、人事部人材開発チーム長、同人事課長、国際協力客員専門員(教育)、人間開発部基礎教育グループ長、東南アジア・大洋州部審議役、ネパール事務所長等を経て2018年11月から現職。



大久保 昇

株式会社 内田洋行
代表取締役社長

1979年入社以来、主に公共分野に従事。特に、日本の学校市場におけるICT活用に関しては、PCの黎明期、インターネット導入時代から長く活動をしてきた。また、社内に教育研究所を立上げ、所長として実践研究や各種研究事業の受託を行う。一方、東アジアの高校生交流や中国の大学日本語教育大会の支援にも20年ほど関わってきた。趣味も含めて訪問した世界の学校は25カ国余り。



井上 勝之

株式会社 公文教育研究会
取締役 経営統括官

1991年通商産業省(当時)入省。資源エネルギー庁、福井県庁などを経て、2003年退官。その後、ベンチャーキャピタルを経て、2007年株式会社公文教育研究会入社。バングラデシュの国際NGO「BRAC」とのパートナーシップによる貧困層の子供を対象とした教育協力や、UAEのアブダビ首長国の小学校への公文式導入による教育協力事業を主導。現在は取締役として、グループ経営企画および経営管理を掌している。

参加申込み・問合せ先 ※ 詳細はEDU-Portホームページで紹介しています。

参加は無料です。下記URLより申込フォームに必要事項を記入の上、ご登録ください。

<https://forms.gle/aSFEWqUjDgSZW3M7>

※お申込期限：会場参加：3月4日(木)17:00迄 オンライン参加：3月5日(金)17:00迄

問合せ先：受託事業者/株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング (ml-eduport@k-rc.co.jp) お申込QRコード



会場参加の受付は、約100人程度を予定しています(収容人数の1/3程度)。ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。また、入館時に検温にご協力ください。新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、プログラムの内容等に変更が生じる場合があります。